

「新雪の浅間山」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

11月中旬になると、浅間山の麓にあたる北軽井沢でも初雪になることが多い。今年も11月11日に未明に、雨が雪に変わり、明け方には積雪も観測された。



上写真は、北軽井沢交差点に設置したカメラの11月11日未明の画像である。横切っているのは国道146号線で、うっすらと雪が積もっているのがわかる。この国道は、昼夜を問わず除雪するのが原則だが、積雪が5cmを超えないと除雪車は出ない。凍結防止の塩カル(塩化カルシウム)を、専用車でまくこともある。

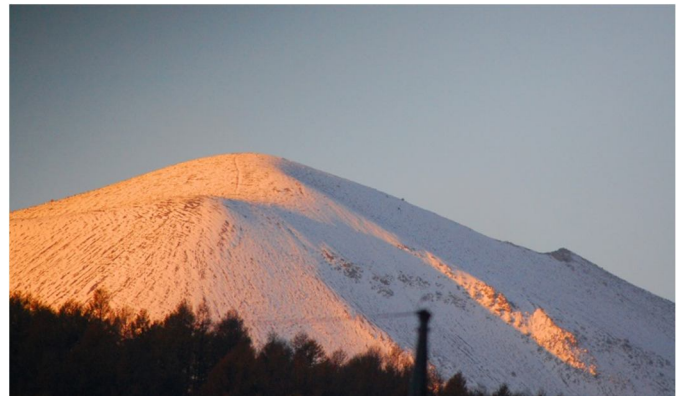


こちらは同日朝7時過ぎの、私の山小屋テラスと庭の様子である。広葉樹はほとんど葉を落としている。初雪前に葉を全部落とせるかどうかは、落葉樹にとっては死活問題なのだ。もし落葉に失敗すれば、葉に積もった雪の重さで、太い枝まで折れてしまう。カラマツだけはまだ葉が残っているのがわかる。

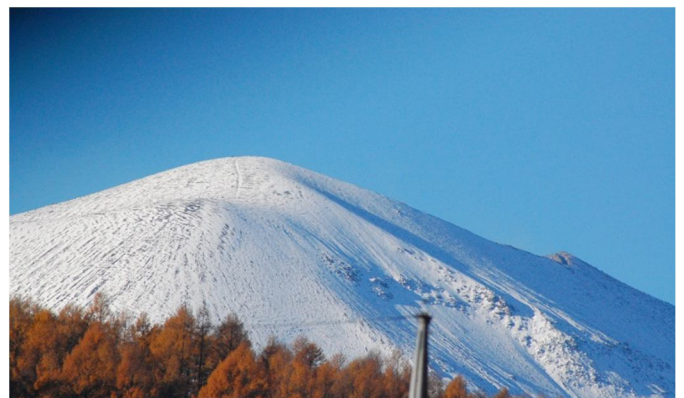
11月11日は一日中雲をかぶっていて、浅間山は見えなかった。しかし、麓で積雪があったのだから、山頂は恐らく雪で真っ白なはずである。



11月12日の未明、雲が晴れて浅間山の山頂が姿を現した。上弦を過ぎた月が雪面を照らし、実に幻想的で立体感のある姿を見せている。浅間山上空には、西に沈む恒星の日周運動の光軌も写っている。



同じ日の夜明けの浅間。月明と逆で、左側(南東側)から太陽光が射している。赤富士ならぬ「赤浅間」である。この姿が見られるのは、ほんの数分である。



この日は快晴で、新雪ですっかり雪化粧した浅間山の美しい姿を、一日中見ることができた。

※写真は、すべて東京から遠隔操作で撮影した。